HA8000V／DL360 Gen11（8SFF／4LFF） 機器仕様

モデル名			DL360 Gen11	
筐体タイプ	筐体サイズ		ラックサーバー［1U］	
	標準ドライブケージ		8SFF	4LFF
プロセッサー	種類・最大搭載数		第4世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサー、最大2プロセッサー	
	周波数／コア数		Xeon-P 8490H(60C/1.9GHz/350W), Xeon-P 8480+(56C/2.0GHz/350W), Xeon-P 8470Q(52C/2.1GHz/350W), Xeon-P 8470(52C/2.0GHz/350W), Xeon-P 8470N(52C/1.7GHz/300W), Xeon-P 8468V(48C/2.4GHz/330W), Xeon-P 8468(48C/2.1GHz/350W), Xeon-P 8462Y+(32C/2.8GHz/300W), Xeon-P 8460Y+(40C/2.0GHz/300W), Xeon-P 8458P(44C/2.7GHz/350W), Xeon-P 8452Y(36C/2.0GHz/300W), Xeon-P 8444H(16C/2.9GHz/270W), Xeon-G 6458Q(32C/3.1GHz/350W), Xeon-G 6454S(32C/2.2GHz/270W), Xeon-G 6448Y(32C/2.1GHz/225W), Xeon-G 6448H(32C/2.4GHz/250W), Xeon-G 6444Y (16C/3.6GHz/270W), Xeon-G 6442Y(24C/2.6GHz/225W), Xeon-G 6438Y+(32C/2.0GHz/205W), Xeon-G 6438N(32C/2.0GHz/205W), Xeon-G 6434(8C/3.7GHz/195W), Xeon-G 6430(32C/2.1GHz/270W), Xeon-G 6426Y(16C/2.5GHz/185W), Xeon-G 6421N(32C/1.8GHz/185W), Xeon-G 6418H(24C/2.1GHz/185W), Xeon-G 6416H(18C/2.2GHz/165W), Xeon-G 6414U(32C/2.0GHz/250W), Xeon-G 5420+(28C/2.0GHz/205W), Xeon-G 5418Y(24C/2.0GHz/185W), Xeon-G 5418N(24C/1.8GHz/165W), Xeon-G 5416S(16C/2.0GHz/150W), Xeon-G 5415+(8C/2.9GHz/150W), Xeon-G 5411N(24C/1.9GHz/165W), Xeon-S 4416+(20C/2.0GHz/165W), Xeon-S 4410Y(12C/2.0GHz/150W), Xeon-B 3408U(8C/1.8GHz/125W)	
チップセット			インテル社製 C741 series	
メモリー	最大容量 *1		6.0 TiB (16 x 256 GiB RDIMM + 16 x 128 GiB RDIMM @ 4800 MT/s または、16 x 256 GiB RDIMM @ 4800 MT/s)	
	最大搭載枚数		1CPU時：16 / 2CPU時：32	
	仕様		DDR5 Registered DIMM, Advanced ECC, Online Spare with Advanced ECC, Mirrored Memory with Advanced ECC, HPE Fast Fault Tolerance *2	
表示機能	VRAM		16MB	
	最大表示解像度（表示色） *3		32ビットカラー：1920×1200	
ハードドライブ（本体内蔵）	ドライブベイ	SFF	標準8、オプションで最大10 (2.5 インチSFF SAS / SATA / NVMe)	—
		LFF	—	標準4 (3.5 インチLFF SAS / SATA)
	最大容量 *4	SFF SAS HDD	24TB (SFF 2.4TB×10)	—
		SFF SATA HDD	20TB (SFF 2TB×10)	—
		LFF SAS HDD	—	80TB (LFF 20TB×4)
		LFF SATA HDD	—	80TB (LFF 20TB×4)
		SFF SAS SSD	153.6TB (SFF 15.36TB×10)	—
		SFF SATA SSD	76.8TB (SFF 7.68TB×10)	—
		LFF SAS SSD	—	30.72TB (LFF 7.68TB×4)
		LFF SATA SSD	—	30.72TB (LFF 7.68TB×4)
		SFF NVMe PCIe SSD	153.6TB (NVMe 15.36TB×10)	—
	ホットプラグ		ホットプラグ可能 *5	
内蔵ディスク用アレイコントローラー	対応アレイコントローラー *6		SRシリーズ(SRxxxi-x)およびMRxxxiシリーズ	
光学ドライブ			DVD-ROM/DVD-RW (内蔵および外付けオプション)	
拡張スロット	PCI Express		標準搭載プライマリライザー：(PCI Express Gen5 x16 フルハイト/ハーフレングス ×1, PCI Express Gen5 x16 ロープロファイル/ハーフレングス ×1) ※オプションライザーによりスロット仕様を変更可能です。	
	OCP		2スロット *7*8	
標準インターフェース	標準ネットワーク		オンボードLAN 非搭載 *7, iLO 6 リモート管理用LAN 1Gb × 1(RJ-45)	
	インターフェース		シリアル×1（オプション、RS-232C、DB-9）、モニター×2（背面VGA ポート、前面Display Port1(オプション)、同時使用不可）、USB 2.0×2（内部1、前面1(オプション)）、 USB 3.2 Gen1×4（背面2、前面1、内部1）、フロントiLO サービス ポート×1	
TPM			オンボード、TPM2.0	
外形寸法			435(W) x 754(D) x 43(H) mm	435(W) x 774(D) x 43(H) mm
質量(最小/最大)			約14.6 kg/約20.5 kg	約15.0 kg/約21.6 kg
電源			100-120 V (50 / 60 Hz) / 200-240 V (50 / 60 Hz)、最大2、冗長構成対応	
冗長FAN			サポート	
消費電力(定格) *12			AC100V：1103W、AC200V：1904W	
電流(定格) *12			AC100V：11.3A、AC200V：9.6A	
省エネ法(2021年度)に基づく表示	区分		2	
	エネルギー消費効率 *9		29.9	
VCCI基準 *10			クラスA情報技術装置	
国際エネルギースタープログラム適合モデル			—	
騒音 *11			49dBA	
温度／湿度条件(非動作時)			温度：10～35℃(-30～60℃)／湿度：8～90%(5～95%)但し結露しないこと) ※ASHRAE Class A3(5～40℃), ASHRAE Class A4(5～45℃)でサポートしたい場合、個別にご相談ください	
製品含有化学物質管理			RoHS指令で規定される特定有害物質の使用制限に対応	
サポートOS			サポートOS一覧にてご確認願います。URL：https://www.hitachi.co.jp/products/it/ha8000v/products/os/index.html	

●HDD/SSD/USBメモリーなどの容量表記は、1KB(キロバイト)＝1,000バイトで計算した物理容量です。メモリーの容量表記などで用いる1KiB(キビバイト)＝1,024バイトで計算した論理容量とは表記上同容量でも、実容量は少なくなります。 *1：1KiB(キビバイト)＝1,024バイトで計算した容量です。また、使用OSによって搭載可能な最大容量は変わります。*2：メモリRAS機能を使用の際は「Memory RAS feature technical whitepaper」を参照ください。https://www.hpe.com/psnow/doc/a50007802enw *3：使用するディスプレイやOSの制限などにより、実際に設定できる解像度、表示色が異なる場合があります。*4：1KB(キロバイト)＝1,000バイトで計算した物理容量です。また、ディスクアレイ最大搭載時スペアドライブ設定不可。*5：NVMeはVMware環境でのホットプラグ未サポートです。 *6：ブートモードはUEFIモードのみのサポートです。(レガシーBIOSモードは非サポートです) *7：オンボードLAN非搭載のため、OCPアダプターの搭載を強く推奨します。*8：アレイコントローラーおよびOCPアダプター搭載用 *9：エネルギー消費効率とは、中央演算処理装置、補助記憶装置及び主記憶装置の消費電力あたりの性能を幾何平均して得られる数値です。 *10：この装置はクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。*11：ISO7779に準拠。設置環境の温度やシステム装置の構成および負荷状態により、本基準値を超えることがあります。 *12：電源1台のみ搭載時もしくは電源2台搭載で冗長化設定時の値です。電源を2台搭載し非冗長電源として使用時は倍の値となります。